

6章 資料編

1 配布資料

(1) 進行パワーポイント

**市民自治を考える
市民ワークショップ**

日時:平成30年1月27日(土)13:00~16:00
場所:札幌市民ホール2階 第1号会議室
札幌市 市民自治推進課

1

ワークショップの目的

- ① **社会情勢の変化を踏まえて、これからの町内会のあるべき姿について意見をいただく。**
- ② **さまざまな課題を抱える町内会を活性化させるためのアイデアをいただく。**
- ③ **いただいた意見を取組や施策に役立てたり、町内会に関する条例の検討に向けての参考にする。**

2

ワークショップのテーマ

テーマ

**『これからの町内会を
みんなで考える』**

3


本日のプログラム

13:00	+	1. 開会、あいさつ、趣旨説明
13:10	+	2. アイスブレイク(15分)
13:25	+	3. 情報提供①(20分)
13:45	+	4. ワークショップ①(35分)
		『これからの町内会のあるべき姿は』
14:20	+	休憩(10分)
14:45	+	5. 情報提供②(20分)
14:50	+	6. ワークショップ②(45分)
		『町内会 劇的!!ビフォーアフター』
15:35	+	6. グループ発表、まとめ
15:55	+	7. 閉会のあいさつ、アンケート記入

4

アイスブレイク

町内会クイズ



5

町内会クイズ

**自分の町内会の
“町内会名”を
知っている!?**

6

町内会クイズ

これって、町内会が
やっていること？

7

町内会クイズ



8

町内会クイズ

ゴミステーション
の管理



町内会クイズ

この活動に
参加したことが
ある？ない？

10

町内会クイズ

この活動に
参加したことが
ある？ない？

10

町内会クイズ



11

町内会クイズ



12

町内会クイズ



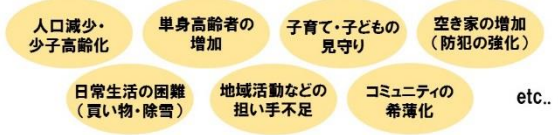
12

“町内会”って
あなたにとって
必要??

『これからの町内会の
あるべき姿は?』

- 今後の町内会でどのような役割が大切になるか
- どのような町内会だったらよいか

さまざまな社会情勢の変化などを踏まえて...



町内会が強化した方がよいこと、必要な役割

自分ごととして町内会がどうあればよいかを、考えましょう!

- ① 自分の意見は手短かに話しましょう
少数で議論しているとはいえ、できるだけ多くの意見を出し合い、共有するために、できるだけ手短かに話をしましょう。
- ② 他の人の意見はしっかり聞きましょう
議論を深め、様々な視点からより良い話し合いとするため、他の人の意見をしっかりと聞きましょう。
- ③ 人の意見を否定しないようにしましょう
一見違うように思える意見も、冷静になると共通点があったりします。他の意見はむしろ発展させたり、相乗りにして、より良いアイデアに発展させましょう。

ワークショップ①
さっそくスタート!
(35分)

札幌市まちづくり応援キャラクター「まっちゃん」

休憩 (10分)



『町内会
劇的!! ビフォー→アフター』

- 町内会の仮想のモデルに対して、どうしたらよいか
- 町内会がどうあるべきか、札幌市はどうすることが必要か

ワークショップ②

3つのモデル町内会のうち、グループで話し合うものを1つ取り上げます

ケースA

老人ばかりの町内会

ケースB

顔もわからないまち

ケースC

町内会の中に2つの町内会？

21

ワークショップ②

みなさんは、**町内会リフォームの匠**です！

モデル町内会の課題を改善(リフォーム)するためのアイデアを考えましょう。



「札幌市がやるべきこと」
「町内会がやるべきこと」の視点から考える

22

ケースA:老人ばかりの町内会

○高齢者が暮らしていけなくなる

ここは、郊外部に位置する約100世帯の戸建てが多い町内会。

町内会に入っている人は多く加入率は比較的高いものの、**高齢化が著しく**、回覧板を回したり、冬の家の前の除雪をしたりすることが難しくなっている。地域には一人で暮らす独居老人も多く、見守り活動をしているが、今後も高齢者の単身世帯が増えていくことが一番心配のタネになっている。

町内会活動は必要だと感じているものの、**だんだんその意識も薄れつつあり**、**町内会を抜ける**と言う住民もちらほら見え始めている。

23

○消え行く町内会活動

町内会役員の平均年齢が**80歳**であり、新しい役員の担い手も見つからない。

役員の高齢化により夏祭りなどのイベントも行行うことができなくなり、ゴミステーション管理や除雪などの最低限の活動のみとなっている。

これから定年を迎える団塊の世代はいるが、役員の**依頼をするも断られてしまう**。

24

○将来的に町内会はどうなってしまうのか

このまま5年10年経つと、町内会に加入する人も少なくなり、運営するための人も財源もままらなくなってしまう。

将来的に、若い世帯が入ってくることも期待されるところであるが、町内会に入るのか、活動が活性化されるのかはわからないことも心配。

今後、住民が**町内会の大切さを認識し**、加入や活動への参加するための取組が求められている。

25

ケースB:顔もわからないまち

○若い世代の関心がない

駅に近くアパート・マンションが多く立ち並ぶ町内会。

都心にも近く、駅にも近いことから利便性が高く、単身の働き世代が多く住んでいるため、日中、地域に人は少なく、いるのは高齢の人のみ。

利便性を求めて新しく住み着く若い世代も多く、町内会など**地域への意識や関心はほとんどなく**、地域のなかのつながりは全く見られない。

26

町内会がゴミステーションなどを管理していること、街灯を管理していること、住民の安全な暮らしを守るための防犯パトロールなどを町内会の高齢者が行っていることももちろん知らない。

地域のなかでお隣さんとのつながりや顔を知っている関係などはなく、近所の人の顔が全くわからない町内会となっている。

27

○誰もかわらない町内会とその活動

町内会では、ボーリング大会やウォーキングイベントなどを開催しているが参加者はあまり多くない。特に若い世代の参加はほとんど見られない。

また、町内会では、積極的に加入促進の取組を行っているものの、なかなか**町内会独自の取組では限界が近づいてきているところ**。

○身の回りには暮らしの危険がたくさん

防犯の事件なども最近多発しており、防災に関してもこれから心配な地域となっている。

28

ケースC:町内会の中に2つの町内会？

○二分する若い世代と高齢者

閑静な住宅地で、戸建てと集合住宅が混ざっている地域。

もともと長年住んでいる人が多い地域だったが、最近では、戸建ての分譲住宅も増え、就学前の子どもから小中学生の子どもを持つ世帯が増えつつある。

いまでは300世帯程度が住むなか、若い世代は町内会にあまり入ることなく、200世帯程度しか町内会には加入していない。

地域には、長く住んでいる高齢者がいろいろな行事を企画し開催している町内会と、子どもを通じた若い世代のコミュニティが二分していて、まさに、町内会のなかに2つの町内会があるといっても大げさではない町内会になっている。

29

○つながりがないまち

町内会では、お祭りなどの子ども向けの行事を行っており、子どもの参加は見られるがその親世代とのかかわりがなく、顔ぶれがほとんどわからない状態。

町内会が行っている清掃活動や交通安全の取組、防災の活動なども若い世代には知られていなく、町内会の大切さが浸透していない。

30

○助けを呼べない地域

地域の真ん中には、数十年に一度氾濫する川が流れており、長く住む高齢者は常日頃から防災に気をつけている。

もし、また災害が起きたら住民同士の助け合いが求められるが、昨今の状況に、町内会は大きな不安を抱えている。

31

ワークショップ②
さっそくスタート！
(45分)




札幌市
まちづくり応援キャラクター
『まっちゃん』

32


(2) 情報提供パワーポイント

1) 情報提供①

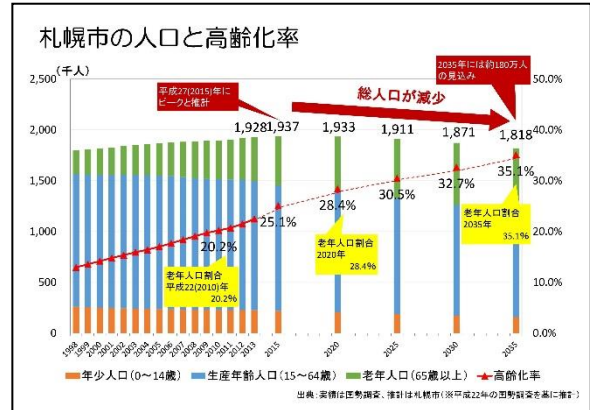


自治基本条例キャラクター
じっちい

情報提供①



まちづくり応援キャラクター
まっちい



人口が減ったり、高齢化が進むと...

- 地域コミュニティ(地域住民同士のつながりや連帯感)の希薄化
- 単身高齢世帯等の増加(見守りや支え合いなど孤立化対策)
- 空き家の増加
- 子どもの安心安全
- 生活利便機能の低下(買物難民、除排雪)
- 地域活動の担い手不足(各種地域行事の維持困難化)等々...

地域の互助・共助活動をする様々な役割・機能を担う
地域コミュニティの活性化が重要

地域コミュニティとは？

コミュニティとは、地縁、血縁、文化的背景、価値観などに基づく共同体をいい、そのうち、地縁的な要素の大きいものを地域コミュニティという

◆主な地域コミュニティとその役割

町内会が地域コミュニティの中心

町内会って、どんなところ？

交流

防災

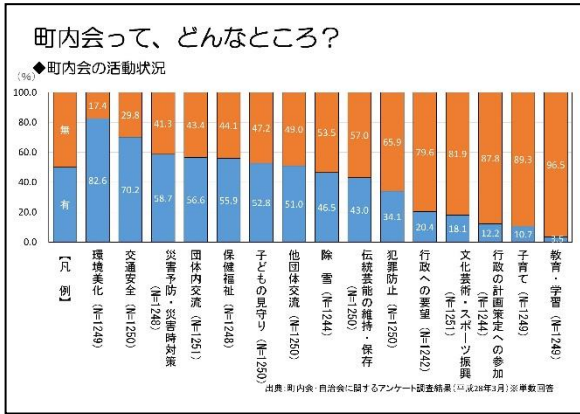
防犯

雪

ごみ

●●町内会 平成29年度 町内会活動・イベントカレンダー

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
行事	新年会(1/1)	敬老会(9/1)	運動会(10/1)	盆会(8/1)	桜祭り(4/1)	夏祭り(7/1)	秋祭り(11/1)	クリスマス会(12/1)	新年会(1/1)	敬老会(9/1)	運動会(10/1)	盆会(8/1)
その他	町内会活動(1/1)	町内会活動(2/1)	町内会活動(3/1)	町内会活動(4/1)	町内会活動(5/1)	町内会活動(6/1)	町内会活動(7/1)	町内会活動(8/1)	町内会活動(9/1)	町内会活動(10/1)	町内会活動(11/1)	町内会活動(12/1)



町内会って、じつは・・・

あって当たり前に見えることが、町内会の活動だったりします。

歩道に咲く花や、夜道の街路灯。きれいに雪かきされた冬道。いつもは見過ごしているかもしれません。でも、誰がしてくれたんだろう？と思いついてみてください。町内会のマチトモが、あなたのまちを支えています。

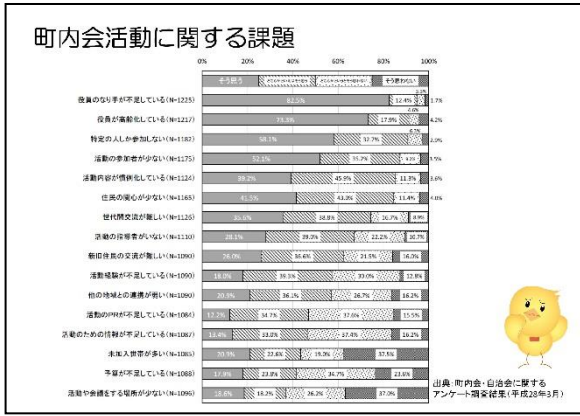
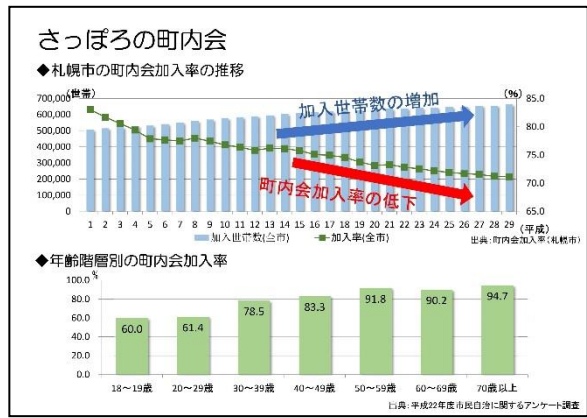
家族のつぎに 町内会 自治会
身運なきずな

さっぽろの町内会

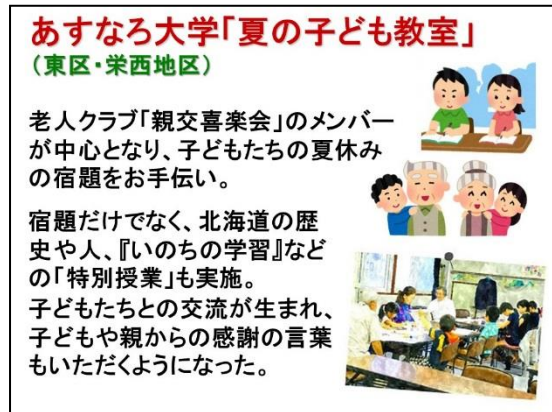
【概要】

連合町内会	90
単位町内会	2,201
人口 (人)	1,958,772
総世帯数 (世帯)	933,448
加入世帯数 (世帯)	663,897
加入率 (%)	71.12

平成29年1月1日現在



2) 情報提供②



発北キラキラ 7days (西区・発寒北地区)

毎年7月の1週間、「地域内一斉環境美化週間」を設定。

町内会・小学生・中学生・PTA・商店街・企業が参加して、地域ぐるみで清掃活動や花壇整備などを行っている。
多くの活動主体が連携して「オール発寒」で取り組んでいる。



ふれあいボランティア除雪 (清田区・清田地区)



地域内の企業「北海道コココーラボトリング(株)」、札幌国際大学、町内会、まちづくりセンターなどが協力して、高齢者宅やごみステーション、消火栓の周りなどを除雪。



活動への参加

地域の取組

お助けマン あぐい (愛知県知多郡阿久比町)



老人クラブの会員が「お助けマン」として活躍。地域の高齢者の「小さな困りごと」を解決するためのお手伝い。
同世代ならではの気配りや安心感が好評。

お助けメニュー(例)

- ・電球交換
- ・刃物研ぎ
- ・重い物の移動
- ・簡単な大工仕事
- ・パソコン代筆
- ・一緒に散歩
- ・一緒にお話



など

市民センター町内会 きくがおか (福岡県北九州市小倉南区・企救丘校区連合会)

町内会がない地域や、解散されてしまった地域など、町内会に入りたくても入れない方の受け皿を作り、ホームページなどで加入呼びかけ。

既存自治会への加入促進、新しい自治会の設立、近隣の自治会での受け入れ調整などを行っている。



活動への参加

交流
つながり
づくり

札幌市の取組

交流・つながりづくり

地域コミュニティ活性化推進事業

若い世代の担い手育成

地域マネジメント推進事業



活動への参加

意識の醸成

地域の取組

フラワーロード事業 (豊平区・福住地区)



町内会連合会、町内会、小学校、まちづくりセンターが協力して、道路や公園などに花を植える。地域の連帯感の醸成・地域の魅力向上、地域活動への参加の意識醸成に寄与。



炊き出しフェス (川崎市高津区・溝の口地区)



大型マンション3棟(約2,300戸)合同開催の防災イベント。マンション住人以外も参加可能。非常食を使った料理教室、ダンボールを使った災害シミュレーション、親子ワークショップ、チャリティコンサートなども行う、地域の一大行事になっている。



情報発信

地域の取組

桑園かわら版 (中央区・桑園地区)

地域情報を伝えるホームページとA2版ポスター。

札幌大通高校の学生、町内会役員、他地区の大学生、会社員などが、ボランティアとして制作に携わる。

ポスターは、マンション・店舗・スーパー銭湯・病院など各所に掲示、地域に浸透してきている。



町会アプリ「じぶり」 (函館市・陣川あさひ町会)



公立はこだて未来大学の学生の協力により、町会アプリ「じぶり」を製作。

- ・「納涼祭」や「ウィンターフェスティバル」、「お泊まり会」などのイベント情報を見ることができる。
- ・陣川あさひ町会のイベントに参加申し込みをすることができる。
- ・陣川あさひ町会から「ごみ収集日」や「災害警報」などの情報を受け取ることができる。

加入促進

地域の取組

町内会加入促進委員会 (白石区・白石地区)



白石地区連合町内会が旗振り役となって、「町内会加入促進委員会」を立ち上げた。

徹底的な議論、研修、意見交換会などを行い、組織的・専門的に検討。

活動の「見える化」により、町内会活動の重要性を知ってもらうことで、加入者増につながった。



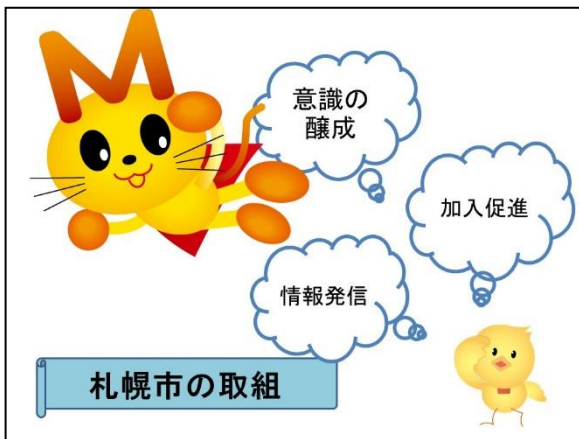
参加しやすい自治会づくり (神奈川県相模原市中央区・小山2丁目自治会)

複数の会員制度を設け、住民それぞれの立場に応じて、参加しやすい環境を整備。ホームページでの情報発信などによる活動状況の周知も積極的に実施。

特別会員 賃貸アパートなど1人暮らしの住民。活動への参加は不要、防犯灯など受益者相当分を負担。

賛助会員 地域内の事業者。地域貢献として、花火大会での屋上駐車場の開放や、景品の提供などを行う。

協力員 常時参加が難しい人。イベント単位で参加・協力することができる。



町内会に関する新たな条例の検討について

条例とは…
地方公共団体がその自治立法権に基づいて制定するもの

○条例の規定対象は、地方公共団体の事務に限られる
 例えば…

- ・事務の執行に必要な事柄を定めたもの
 (札幌市事務分掌条例など)
- ・市民の生活に関することについて定めたもの
 (札幌市税条例など)
- ・**地方公共団体の思いを示すために定めたもの**
 (札幌市自治基本条例など)

町内会に関する新たな条例の検討について

町内会の意義や重要性などの理念をわかりやすく条例に定め、市民と行政が一体でまちづくりに取り組む姿勢を示していくことが、市民の参加意識の醸成につながると考えられることから検討を開始。

○町内会への参加意識を醸成し、加入促進や地域活動の活性化を図っていくための、基本理念などを定める予定

○町内会は住民による自治組織であり、新たな条例でもその自主性を尊重

2 アンケート票

「市民自治を考える市民ワークショップ」 アンケート

今後の参考にさせていただきますので、以下のアンケートにご協力下さい。

質問1 「市民自治を考える市民ワークショップ」に参加して

(1) 参加された感想をお聞かせ下さい。最もあてはまるもの1つに「○」をつけてください。

- ① 大変満足 ② 満足 ③ 不満足
 ④ 大変不満足 ⑤ その他【 】

(2) (1) で「①大変満足」「②満足」とご回答された方にお伺いします。その理由は何ですか。あてはまるもの全てに「○」をつけてください。

- ① 市政に参加できたから ② 市政についての理解が深まったから
 ③ 他の人の意見を聞くことができたから ④ 報酬がもらえるから
 ⑤ その他【 】

(3) (1) で「③不満足」「④大変不満足」とご回答された方にお伺いします。その理由は何ですか。あてはまるもの全てに「○」をつけてください。

- ① 有意義な話し合いができなかったから ② 市政について理解できなかったから
 ③ 思ったより大変だったから
 ④ その他【 】

質問2 情報提供①(町内会の現状や役割)について

(1) 町内会に関する基礎情報や役割、課題の情報提供について、あてはまるもの全てに「○」をつけてください。

- ① 分かりやすかった ② 大変参考になった
 ③ もう少し詳しく聞きたかった ④ よくわからなかった
 ⑤ その他【 】

(2) (1) で「④よくわからなかった」とご回答された方にお伺いします。その理由は何ですか。あてはまるもの全てに「○」をつけてください。

- ① 内容が難しい ② 説明が不十分
 ③ 用語が難しい ④ 話が聞き取りにくい
 ⑤ 説明の時間が短い ⑥ その他【 】

質問3 情報提供②(町内会を元気にしていくための取り組み事例)現状や役割)について

(1) 町内会の活性化に関する札幌市及び他都市の取り組み事例の情報提供について、あてはまるもの全てに「○」をつけてください。

- ① 分かりやすかった ② 大変参考になった
 ③ もう少し詳しく聞きたかった ④ よくわからなかった
 ⑤ その他【 】

(2) (1) で「④よくわからなかった」とご回答された方にお伺いします。その理由は何ですか。あてはまるもの全てに「○」をつけてください。

- ① 内容が難しい。 ② 説明が不十分。
 ③ 用語が難しい。 ④ 話が聞き取りにくい。
 ⑤ 説明の時間が短い ⑥ その他【 】

質問4 町内会に関する新たな条例の検討について

(1) 町内会に関する新たな条例について、どのように考えますか。

- ① あった方が良い ② どちらかと言えばあった方が良い。
 ③ なくても良い ④ どちらかと言えばなくても良い。
 ⑤ どちらとも言えない

3 グループごとの意見

(1) テーマ1 『これからの町内会のあるべき姿は?』における各グループの意見

1) Aグループ

○町内会との関わり

- ・大人になってからは、町内会との関わりがない。
- ・町内会への関心が少ない。魅力的じゃない。
- ・役員になった時、楽しかった。
- ・町内会への要望の対応が迅速だった。※体育館のライトの位置変更。

○安心安全

- ・空き家の増加、借家対策について、町内会で何とかして欲しい。
- ・そもそも何故空き家になるのか。空き家になる前にケア出来ないのだろうか。

○高齢者の見守り

- ・単身高齢者の見守りが必要である。
- ・年齢以前にコミュニケーション不足で助け合いの気持ちも希薄になっている。

○住民の関心を高めるための取組

- ・町内会の関心が低い。(こういう会の参加率が低い)
- ・定年を迎える世代など、まだまだ動ける人も面倒で町内会活動をやらなくなっている。
- ・回覧する行事のチラシなどの作成を業者に委託して、イラスト等もっと盛り込んだりして魅力的にすると参加者が増えるのではないか。
- ・参加の魅力を高めるために、町内会活動に参加するとスタンプを押してもらい、最後にお菓子を貰えるなどメリットを付けるとよい。
- ・また、活動への参加頻度に応じて、地域のスーパー等と提携して割引を付けることができるとよい。

○条例について

- ・家の前の雪山は個人で対処しなくてはならないという条例がある。
- ・町内会は住民が動くものであって、市が何かを決めるものではない。

2) Bグループ

○住民同時の交流があり顔見知りの関係

- ・住民同士で人となりが分かると、お互いに思いやり持って関わることができる。
- ・隣近所とのトラブルにならないよう、お互いに気遣いし合う関係になるとよい。
- ・幅広い世代での交流があるまちになるとよい。
- ・ラジオ体操など交流や楽しみの行事を通して顔見知りになり、単身高齢者の心配をし合える関係になるとよい。
- ・ラジオ体操は子どもと地域住民がつながるきっかけになる。

○子どもの見守り

- ・地域で子どもを見守り、地域で子育てするまちになるとよい。
- ・昔からの住んでいる人はいいが、親の家に同居のために引っ越して来た人は馴染めず大変であるが、子どもを通じた交流があれば、仲良くなりやすい。
- ・地域の人と子ども達が顔見知りになって、スーパーなどであいさつしあう関係づくりができるとうい。
- ・街頭での子どもの見守りも大切な役割である。

○単身者の見守り

- ・高齢者に限らず、健康な人や障がいを持っている方で引きこもりがちな単身者がいると見守りが課題である。
- ・単身者の中には見守られたくない人もいるため、どのように関わっていくかが課題になる。

○ごみ出しのマナー、みんなを守る

- ・ごみの出し方やマナーが悪い住民がいて、カラス被害も深刻になる。
- ・持ち回りでゴミステーションを管理するなど、住民同士で協力し合って管理できる体制が必要である。
- ・周りの人への気遣いができれば解決するのではないか。住民同士の信頼関係があれば、自分ごととして考えてマナーを守ると思う。

○その他

- ・会費の回収は班長さんにとって負担である。金額も大きい集めた会費の保管が重荷であり、回収に直接家にいなければ行けないため大変な作業になる。

3) Cグループ

○町内会の目指す姿

- ・住んでみたい、憧れの町内会。

○除雪支援の仕組みづくり

- ・除雪は単身高齢者にとって負担である。
- ・除雪はボランティアでは大変であるため、有料でお願いできる仕組みが必要である。
- ・除雪業者ではなく、学生や若者へアルバイトでお願いすることができるとうい。

○高齢者の見守りの仕組みづくり

- ・一人暮らしの高齢者の見守り（認知症、孤独死など）が、今後の課題である。
- ・自分が住んでいるマンションも高齢化が進んでいる。
- ・マンションでお茶会をやっているが、出て来てこない人もいる。
- ・防犯ベルを単身高齢者宅に配布するとよい。
- ・給湯やトイレでセンサーを設置し、遠隔で安否確認できるようにするとよいが、お金がかかるため、お金のない人への対応が課題になる。

○住民のつながりづくり

- ・近所付き合いがない人もいるため、中には顔も見ることがない人もいる。
- ・住んでいる人の顔が見える安心感をつくるきっかけが必要である。
- ・特にマンションの場合は、住民が集まる日を月1回設けるなど、定期的に行うと良いのではないか。
- ・若い人にどのように興味持ってもらい、巻き込んでいくかが課題である。
- ・交流事業に若い人に参加してもらい、その人に除雪のサポートを行ってもらうなど、町内会の取組の担い手を見つける場になるとよい。

○地域ごとに応じた最重要課題に対応

- ・町内会ですべてをやることは無理なので、各町内会での一番の緊急課題に対応した取組を行うべきである。
- ・ほとんどの町内会では、イベントやお祭り、スポーツ、見回り、交通安全など色々やりすぎではないか。

○その他

- ・お金の無い人はどうする？

4) Dグループ

○町内会の目指す姿

- ・顔の見える地域（町内会）。交流・見守り・賑わいがあるまち。

○交流の場

- ・地域の交流の場がない。
- ・コミュニティの拠点となるので、交流の場は必要である。
- ・人のつながりを感じられると、安心を感じる。
- ・高齢になると外出する機会が少なくなるので、交流の場があると良い。
- ・交流の場があると、顔の見える関係づくりのきっかけになる。

○高齢者の見守り

- ・地域で高齢者の見守りがあると、単身高齢者がいる家族も安心できる。
- ・緊急ブザーを高齢者に渡し、ブザーが鳴った際、担当の町内会の人が駆けつける仕組みがあるとよい。

○子どもの楽しみ

- ・夏祭りなど、子どもたちの楽しみや交流があるとよい。

○情報共有

- ・回覧板だけの情報発信では足りない。
- ・町内会が閉鎖的であり、どのような活動をしているか分からないため、発信が必要である。

○負担感のない参加

- ・自分としては、あまり町内会に必要性を感じられない。
- ・町内会でやるべきことが多く、負担感がある。

○その他

- ・町内会の中にも名前ばかりの部や役割はある。
- ・防災訓練は、あまり実践的でないと思う。

5) Eグループ

○生活環境の維持

- ・ごみステーションの管理は大切な役割である。
- ・除排雪も必要な役割である。

○子どもの安心・安全

- ・地域みんなで子どもの見守りをしてくれたら、安心して遊ばせられる。

○防災活動

- ・住民の顔が分からないため、いざという時のために日頃からのつながりが大切である。
- ・災害時は必ず集まる場所を決めておくことや、高齢者がどこに住んでいるかを知っておく必要がある。
- ・向かいか隣の住民しか顔が分からない。地域との交流は自分には関係ないと思っている人もいる。

○皆に伝わる情報発信

- ・回覧で皆に回しているが、関心が低くあまり見られていないと思う。
- ・情報発信が大切であるが、イベントなどの時に手がまわっていないためお手伝いしてくれる人が増えるような呼びかけが必要ではないか。
- ・年1回の総会で、町内会の大切さを住民に伝えるとよい。

○住民の意識を変える

- ・マンション住民と戸建て住民で、町内会活動の必要性の認識が変わってくる。
- ・町内会によっては、役員だけで活動しているところもある。
- ・関心が低い人の意識をどう変えていくかが課題である。
- ・一人でもいいから、若い方が入っていると良い。少しの時間でも良い。
- ・隣の町内会との連携で、何か取り組んでいくことも考えられる。

○役員の固定化

- ・役員が固定化している。指名制や輪番制など、どのような仕組みがよいのだろうか。

○その他

- ・地方に行けば行くほどコミュニティが強い傾向がある。
- ・以前は、お葬式も町内会の役割であった。
- ・町内会が教育の場の1つであった。

6) Fグループ

○高齢者の見守り

- ・高齢者の見守りは大切な役割である。
- ・回覧板も見守りにつながっている。
- ・福祉・防災マップの作成など、見守りにはプライバシーの問題もあるため思うように進まないという課題もある。

○防災

- ・実際に災害が起きた時にどうすればよいのか、住民に意識してもらう必要がある。
- ・健康づくりと合わせて、避難経路を歩いてみたい。

○生活環境の維持

- ・除排雪は課題であるため町内会で行う必要がある。
- ・ごみステーションの管理も必要な役割である。
- ・個人のモラル、マナーは必要である。

○子どもとの交流

- ・子どもが町内会に関わる場があるとよい。子どもの頃から町内会に関わることで、将来的な担い手にもつながるのではないか。

○その他

- ・若い人などの新しい考え方を取り入れるべきである。

(2) テーマ2『町内会 劇的！！ビフォーアフター』における各グループの意見

1) Aグループ

○札幌市がやること

【市民の声が届く工夫】

- ・市民が「こんな風に環境を整備して欲しい」という意見出せるよう、発信していくとよい。
- ・市民は、道路や除雪のことなど、今ある状況を我慢して受け入れなくてはいけないと思っているのではないかな。

【町内会加入の義務化】

- ・市税を納めるのと同じように町内会の加入を義務化するとよい。
- ・1つの町内会の範囲で考えず、隣町の若者とかにサポートしてもらおう。

○町内会がやること

【他団体との連携】

- ・活動に参加するとスタンプを押して地域のお店の割引などを付ける。

【住民のスキルを生かした取組】

- ・皆が自分の得意な分野で助け合いを行うとよい。

【町内会組織の見直し】

- ・70歳でも結構元気であるが、役員になりたくない人がいるため、どう働きかけるかが課題である。
- ・老人の中でも元気な人が積極的に動くとうい。
- ・強制的に役員になってもらうよう、輪番制にしてはどうか。

【参加のメリットをつける】

- ・時給制度にしてお金を支払ったり税金軽減などができるとよい。
- ・また、お金が無理でも参加者にお礼の品を渡すと参加につながるのではないかな。
- ・学生は、町内会活動への参加が大学の単位になったり、高校生の推薦入学の強みになると学生も参加してくれるのではないかな。

2) Bグループ

■老人ばかりの町内会

○札幌市がやること

【見守りの対策】

- ・高齢者の見守りは町内会だけではなく行政、企業、施設などとの連携が必要である。
- ・見守りが必要な人の情報を町内会で管理できるようになると良い。
- ・見守りは町内会だけでは限度があるため、見守りやすい仕組みを札幌市が作るべきである。
- ・札幌市による見守りシステムをつくり、周りの住民からの情報や見守りが必要な本人からの要望を町内会で取りまとめて反映させてはどうか。

【条例の制定について】

- ・条例などのルールが有るのは良いことだと思う。
- ・条例は理念だけだと意味の無いものになるのではないか。
- ・罰則がなければ、守らなくてもいいと思ってしまうと思う。
- ・町内会への加入と参加について、条例の内容に盛り込むと良いのではないか。

【条例の周知】

- ・条例などのルール作った後に、それを市民に周知していくことが重要である。
- ・情報を手に入れるための手法は世代によって違うため、世代に合わせて情報発信して行く
とよい。
- ・地区会館で条例についての勉強会を行うと、高齢の住民に知ってもらいきっかけになると
思う。

○町内会がやること

【加入のきっかけづくり】

- ・会員をレベル分けして、単身者は会費を安くするなど、ハードルを下げた加入のきっかけ
をつくる。

【参加のきっかけづくり】

- ・参加してくれたらポイントがついたり、会費免除などの仕組みがあるとよい。
- ・若い人がまず参加してみるためには、いきなり役員になるのはハードルが高いため、サポ
ーター制度などが有ると、気軽に参加できるのでよい。
- ・班長さんに役員のサポーターになってもらえると良いのではないか。

【連携した取組】

- ・地域のコンビニや企業に協賛し、活動に参加してもらう仕組みが必要である。

【町内会の合併】

- ・隣の町内会と合併するのもよいのではないか。

3) Cグループ

■顔も分からない、まちの中に老人が多い町内会

○札幌市がやるべきこと

【加入の義務化】

- ・強制的に町内会へ加入してもらおうよう、義務化にするとよい。健康保健と同じだと思えば良いのではないか。
- ・加入義務については、条例に入れても良い。
- ・引っ越しの手続きの一環で、加入の手続きも行うようにすると良い。
- ・「町内会費は税金だ」キャンペーンを行ってはどうか。

【町内会の活動PR】

- ・全市をあげて大々的に、全町で清掃活動を行うとマスコミも入って話題になるのではないか。
- ・町内会の役割（街灯やごみステーションの管理）についてもっと知らせる必要がある。
- ・マナーの悪い外国人に、町内会でしっかりと清掃している姿を見せる啓発活動があるとよい。
- ・町内会に興味があっても入り方が分からないため、加入についての情報発信の強化が必要である。
- ・マンション住民で加入していない場合は、管理者の問題である。マンション管理者にも周知するとよいのではないか。

○町内会がやるべきこと

【情報公開】

- ・町内会費が何に使われているか、きちんと見せることが必要である。

【参加する仕組みづくり】

- ・高齢化した役員ではもう限界であるため、若い人にも役員や運営のお手伝いをしてもらう必要がある。
- ・町内会に加入した時点で、高齢者と若者をまぜて、係を強制的に割り振るとよい。
- ・加入してすぐは難しいかもしれないため、数年後に簡単な役割から割り振っていくとよい。
- ・若い人は時間的な制約があるため、配慮は必要になる。

【負担感の軽減】

- ・会長は任期制とする。
- ・任期制にすることで、不正も防止できる。

4) Dグループ

■老人ばかりの町内会

○札幌市がやるべきこと

【コーディネート】

- ・仲介役として、外部とのコーディネートをしてほしい。
- ・まちづくりセンターが活躍して、きちんとつなげてほしい。

【町内会への支援】

- ・困っていることの共有の場に、札幌市の人に来て欲しい。
- ・補助金など、お金の支援があるとよい。
- ・場所をつくること支援して欲しい。

○町内会がやるべきこと

【外部委託】

- ・若い人が入ってくれば解決するというわけでない。
- ・出来ないことや困っていることは外に頼むほうがよい。町内会は、何を外に頼むかを定める場となるとよい。
- ・自分たちで出来ないことはお金を出してでも、外注で外に頼むとよい。
- ・無理して自分たちだけでやる必要はない。
- ・町内会は合意形成の場である。自分たちでやるのは最低限の活動でよい。

【助け合いの関係づくり】

- ・みんなで困っていることを助け合うという意義が共有されていない。
- ・顔の見える関係でなければ、お互いに助け合えない。
- ・ふわっと集まって困りごとなど話し合える場所が町内会になるとよい。

【交流の場づくり】

- ・交流の場は必要。
- ・お茶会や発表会などの交流会は月1回でもよいのでやるべきである。
- ・町内会の活動については、役員会で決めるのではなく、お茶会でお茶やお菓子があって世間話をしながら決めていくとよい。
- ・そうすることで、若い人も参加しやすくなる。

5) Eグループ

■顔も分からないまち

○町内会のやるべきこと

【日頃の交流機会を増やす】

- ・挨拶運動を行う。
- ・毎週ラジオ体操を行う（まずは月2回くらいでもよい）。
- ・町内会についての話し合いは、役員だけでなく多くの方が参加できるようにして、回数も増やすとよい。

【交流事業】

- ・学校との連携として、町内会がPTAなどに参加する。
- ・教育委員会に協力してもらい、学校と町内会をつなげてもらう。
- ・学校が中心となって地域の人を繋げてもらう。
- ・スーパー等の企業と連携して、つながりづくりの取組を行う。
- ・連合町内会や近隣の町内会と連携して事業を行う。

【情報発信の工夫】

- ・SNSで若い世代へ情報発信する。
- ・スーパーで買い物する時に、町内会についてのビラも一緒に入れてもらう。

【防災の取組】

- ・学校で防災イベントを実施する。
- ・スーパーや企業は、災害時に食料や毛布の提供など、協力してもらえるような関係づくりを行う。

【住民の参加を促す】

- ・皆が参加できる、集まりやすいイベントを行う。
- ・食べ物やお酒を提供するイベントは、人が集まる。
- ・たくさん人が集まるイベントで顔見知りになることで、今後あいさつしあうなど、交流のきっかけづくりとする。
- ・子ども食堂で高齢者が食事づくり、子どもと交流する機会をつくる。
- ・企業に寄付を出してもらい、連携して交流事業を行う。

○札幌市がすべきこと

- ・札幌市から、学校や企業への協力・連携を呼びかける。

6) Fグループ

○町内会がすべきこと

【活動の見える化】

- ・パトロール時に、町内会のスタッフジャンパー着るなど、町内会としての取組ということが一目でわかるようになるとよい。

【情報発信】

- ・街灯の管理など、町内会の役割を伝えていくことが必要である。
- ・掲示板や回覧板だけでは若い人は見ていないため、インターネットで手軽に見れるようにする。
- ・情報を見るきっかけも必要である。
- ・若者は、町内会行事を手伝うと大変だと思っているのではないか。

【交流事業】

- ・高齢者は考え方が固定化している人も多いため、若者と高齢者が関わるきっかけが必要である。
- ・ペットの話など、テーマに沿ったコミュニティをつくると、世代に関わらず交流ができるのではないか。
- ・引っ越してきて孤立してしまう高齢者と、どのように関わりをつくっていくかが課題である。

【地域での子育て】

- ・子どもの頃から町内会にふれる機会をつくる。
- ・おせっかいな高齢者が少なくなっている。地域での子育ても必要ではないか。

【参加のメリット】

- ・参加のメリットとして、クーポンやごみ袋、お菓子などがもらえるとよい。

○札幌市がすべきこと

【条例について】

- ・条例というと固いイメージである。
- ・条例をつくっても、誰も興味を示さなければ見ないのではないか。

【アドバイザー派遣制度】

- ・アドバイザー派遣は良さそうである。
- ・外からの意見を取り入れるきっかけとして、必要な事業ではないか。